

はばたけ 川滝っ子

令和4年度
川滝小学校便り
10月号②

読めますか？

ひらがなばかりの文章って読みづらいですよね。では、下の文章はどうですか。すらすら読めますか。「舐めるなよ」と思わずに読んでみてください。（引用元の文を改作）

こんちには みさなん おんげき ですか？ わしたは げんき です。 この ぶんよし
う は イリグス の ケブンツリジ だがいく の けゅきんう の けっか にんげん は
もじ を にしんき する とき その さしいょ と さいご の もさじえ あいてっれば
じばんゆん は めちくやちゃ でも ちんやと よめる という けゅきんう に もづいと
て わざと もじの じんばゆん を いかれえて あまりす。 どでうす？ ちんやと
よまめしかた？

最初から違和感を持ったり、間違いに気が付いたりした人は、純粋な人かもしれません。気になることなく読めた人は、もう一度よく読んでみてください。よく見れば、まあまあでたらめな文章が書かれています。でも、なぜか読めます。小学生低学年だと冒頭から「こ・ん・ち・に・は」と正確に読むでしょう。けれども、意味が通る文としては読めません。「なぜ読めるのか」は科学的に証明されていないようですが、今までの経験や記憶から予測して、無意識に読める単語に変換して認識してしまうからではないかとされています。このでたらめな文章が読めるのは、文字を読む経験の積み重ねの結果、つまり学習の成果ということです。しかし、間違いに気が付かないのは、良いことでしょうか。これもまた学習によって身に付けた先入観のせいで読めてしまっているとも考えられます。先入観を持たず正しく読み解くことや、自分の読解力を疑いながら丁寧に読み進めることは大切なことです。自分の言動においても同じことが言えるのではないのでしょうか。無意識に間違った行動を取っていたり、先入観に邪魔をされて正しく判断できなかったりしないよう、いつも「自分の言動は正しいのか」を問い掛けながら、自分を磨き続けたいものです。

活動の様子♪



陸上運動記録会 (10/6)



親善音楽会に向けて



かがやき発表 (10/13)



いさいさ



作品制作 (図工科)



読み聞かせ (10/17) →



ホームページもご覧ください。 <https://kawataki-e.esnet.ed.jp/>